わたなべ 秀一

HIDEKAZU WATANABE

ひでかず

44歳

後援会ニュース

号外

HIDE'S NEWS

守谷駅周辺編

はじめよう 未来のカタチづくり

守谷市議会が躍進？ 4年間の改革

前回の守谷市議会選挙では多くの方のご支援により初当選することができました。この4年間、守谷市議会議員として市政に全力で取り組んできました。

2014年3月には「守谷市議会基本条例」が制定。条例に基づき様々な改革を行いました。例えば、守谷市議会初となる「議会報告会」を開催。またフェイスブックやツイッターなどのSNSを活用したプロモーションや守谷市議会だより「こじゅけい」の刷新、「守谷市事業評価（事業仕分け）」など積極的な改革に取り組みました。2014年に発表された「議会改革度調査」(注1)では、守谷市議会が全国57位に躍進するなど、この4年間の成果は確実に表れたと思います。

話はさかのぼりますが、私が議員を志した理由の一つに市議会の「仕事の見える化」がありました。そのような意味で多少は想いが達成できたかなと思います。

（注1）早稲田大学マニフェスト研究所が全国の1503議会を対象に、『情報公開・住民参加・機能強化』の3分野の取り組みを調査・公表

フランス・パリでみた 公共空間の使われ方

私は全ての定例会で一般質問を行いましたが、自分の提案を見直すと、守谷駅周辺に関する質問が多かったですね。これは私の祖父母が旧守谷駅前で商売を営んでいたこともあり幼少から駅前に馴れ親しんでいたことと、これまで守谷市商工会青年部・(社)常総青年会議所(注2)の一員として駅周辺でイベントを数多く行った経験が要因だと思います。また在籍中の大学院の影響

（注2）現・(一社)茨城南青年会議所

も大きいですね。大学院では石原慎太郎元東京都知事時代に副知事を務めていた、青山やすし教授のゼミで、公共・都市政策などを専攻しています。一例を挙げると、公共空間である道路などを活用した地域活性化があります。

ご存知の通り、２０２０年に東京オリンピック・パラリンピックが開催されますが、現在、東京都は道路である公共空間をオープンカフェなどに活用して、パリのシャンゼリゼ大通りに匹敵するような活気を目指す取り組みに力を入れてます。実際に私は、２０１４年８月に大学院のゼミ視察でフランス・パリに訪れ、シャンゼリゼ大通りを体験してきましたが、そこには歴史、文化はもとより、どこかオシャレで上品な賑わいを感じたのが印象的でした。

フランス・パリ　シャンゼリゼ大通りのオープンカフェの様子

守谷駅周辺に仕掛ける あたらしい試み

私はこれらの公共空間の活用事例を守谷駅周辺でも応用できないかと考えます。「守谷駅西口広場」や「つくばエクスプレス改札から関東鉄道常総線の改札までの自由通路」、そして「土塔口一体」の公共空間を活かして、「商業の賑わい」や「市民の憩い・交流の場」を作ってみてはどうでしょうか。

例えば、起業支援の一環としてコンテナハウスを利用したオープンカフェや、観葉植物やベンチ、パラソルなどを置いた憩いの場の空間活用ができたら面白いかもしれません。守谷駅を利用する人たちだけでなく市民も時間を過ごせる場所になったら良いですね。

また守谷駅東口には「1.2ヘクタールの市有地」や「アワーズもりや」の公共施設があります。これからの４年間は、東口から現在開発中の松並地区「ビスタシティ守谷」も含めた駅周辺一体をどのような通り（顔）にするのか、慎重に議論を重ねていく大切な時期になるでしょう。

有効活用が望まれる市有地

駅周辺の公共空間を地域活性化に活用

フランス・パリで見たコンテナハウスカフェ

一人ひとりの声から始まる 未来のカタチづくり

これからの守谷駅周辺には大きな可能性があるのではないでしょうか。「駅周辺は駐車場ばかり」と市民の方から不満の声をよく聞きますが、これは裏を返せば未来への大きなチャンスと捉えることもできます。それは様々な条件が整えば、いつでも新しく何かを創れる機会があるからです。可能性があるからこそ、私は市民一人ひとりが守谷駅周辺の今後のあり方について関心を持って欲しいと思います。一人ひとりが守谷駅周辺をどのような場所にしたいのか、ご家族や友人との日常会話の中で話題にしてみてはどうでしょうか。

駅はまちの玄関です。駅周辺が活気に満ちれば、まち全体の活性化にも繋がります。ぜひ守谷駅周辺の理想的な姿について話してみてください。きっとその声が守谷駅周辺の未来のカタチになっていくと思います。

わたなべ秀一

昭和47年1月8日生まれ。平成21～22年守谷市商工会青年部部長。「守谷将門がぶりメンチ」の考案＆プロデュースを行う。平成23年より（社）常総青年会議所（現・一般社団法人茨城南青年会議所）の理事長を歴任。平成24年に40歳で守谷市議会議員に初当選し1,090票を獲得。平成24～25年は都市経済常任委員会副委員長を務める。翌26年は文教福祉常任委員会と広報特別委員会を兼任。平成27年より地方創生特別委員会副委員長として、守谷のまち・ひと・しごとの地方創生に取り組む。私生活では、平成24年から25年にかけて守谷市消防団第2分団長として活動。平成25年より明治大学専門職大学院バナンス研究科に在籍中。

発行元 わたなべ秀一 後援会
〒302-0109 守谷市本町260
TEL 0297-45-7530
MAIL nabesta1211@yahoo.co.jp

わたなべ 秀一 検索
Facebookでも情報発信してます